

特定医療法人 整肢会

副島整形外科だより

開業 124 年。地域に寄り添い、みなさまの健康を支えます

37号

2017年新年版

トピックス

[副島整形外科だより]

理事長挨拶 … p.2

発見！私のまち
大楠を訪ねる … p.3

副島の部活動 … p.4

副島の給食 … p.5

医師リレーコラム

麻酔ってなんだ？ … p.6

学会／講演 … p.7

[地域連携だより]

出張講座 … p.8

今月の写真：武雄の巨木、大楠を訪ねました

武雄にて 枝葉広げる コツコツと



武雄

武雄神社の奥の小道を抜けた先の、ひやりとした空気の中で苔をまとった武雄の大楠。雷に打たれ大きく裂けてなお幹を広げる塚崎の大楠。繁々とした枝葉に生命の強さを感じる川古の大楠。三様の姿で武雄に根を張る三本の巨樹を、年末に職員が訪ねました。御歳二千年、三千年の大先輩と、後輩である私たちの、ちよっとキになる関係。

発見！ 私のまち 大楠を訪ねる



訪ねた人：リハビリ科1年目の新人 中尾
武雄高校のバレー部時代は、年始一発目の練習に皆で武雄神社にお参りし、大楠を見てから学校に戻っていました。今もお正月は母の実家に帰る前に毎年家族で訪ねてます。大楠は、存在感があるな、とは思いますが、見慣れているので私にとっては安らぐという存在です。



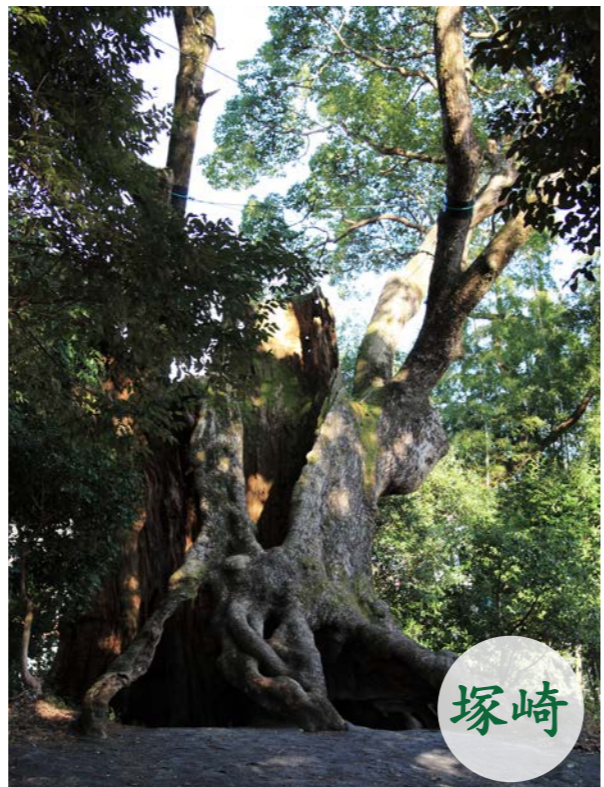
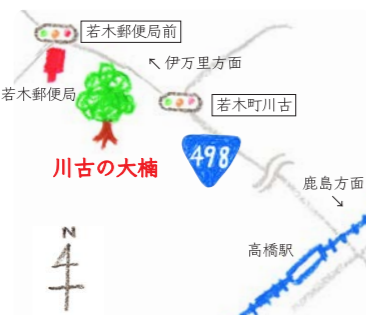
訪れた人：放射線科 辻
辿り着くまで少々迷ってしまいますが、樹齢2000年の大楠は圧巻です。空洞になった大楠の中に入ることができ、そこから見上げる空はとても神秘的です。



川古



訪れた人：看護部 谷川
日本の巨樹TOP5に入る川古の大楠。苔は娘たちが木登りして遊んでましたよ。行基が幹に彫ったという観音様も見られます。



塚崎



がん - 4000年の歴史 - 早川書房
著者のシッター・ムカジーは腫瘍内科医。がんを研究している。本書は患者、医師たちの苦闘のドラマを通して、がんの姿を浮かびあがらせるノンフィクション作品。

今年も、カッコ悪い毎日でも、頑張ろう、と思っています。SMA Pかよ。なかなかスッキリすることも無くて、でも今年はスッキリ生きていきたいと思います。そこで、少しスッキリする、お勧めです。

私たちは、何となく、怖れている。あたかも、貧乏神を嫌うように、地震に襲われるくらいの確率を。漫然と、何処かに隠れていそうな、がん、「癌」に対して、である。人は、死す。それはその様に、何処かで理解せざるを得ず、受け容れているのかも、知れない。癌の患者さんは、何の前兆も無く、何の責任も無く、訪れたそれを、簡単には受け容れ難い。一見矛盾する様だが、人とはそうしたものである。私も、特別ひどく気に病んでいる訳でもないけども、漫然と頭の片隅で恐れ入る。毎月の朝礼で、何を話せば良いか、と悩む程度に。そんな私や貴方に、この本をお勧めしたい。是非、ご一読を。少しだけ、スッキリしましょう。

2017 理事長 副島義久

<p>9月22日(昼)</p>  <p>秋分の日 小豆あん、きな粉に加え、季節のさつま芋あんで作ったおはぎ3種。</p>	<p>11月25日(昼)</p>  <p>骨骨ライスバーガー しらすやひじき、チーズに計240mgのカルシウムを含んだ骨太食。</p>	<h1>副島の給食</h1> <p>2016 秋冬編</p> 
<p>9月29日(昼)</p>  <p>貧血を予防する食事 ビタミンCと一緒に摂って、鉄分の吸収率をアップします。</p>	<p>11月1日(昼)</p>  <p>副島整形外科病院創立記念日 お祝い物を折箱に詰め、焼き菓子には馬形のチョコレートを添えて。</p>	<p>11月18日(昼)</p>  <p>風邪に負けない食事 良質のたんぱく質、卵や魚類、肉を十分に摂取し体力を回復します。</p>
<p>10月21日(昼)</p>  <p>免疫力をアップする食事 免疫力を高める生姜ご飯、海藻サラダ、南瓜スープにヨーグルト。</p>	<p>10月31日(昼)</p>  <p>ハロウィン 南瓜づくしの献立。おばけの大根と人参は型抜きとストローで作成。</p>	<p>9月10日(昼)</p>  <p>秋祭り 遊び心を凝らしたお祭り献立。8種の野菜パフェでバランスも◎。</p>
<p>9月2日(昼)</p>  <p>とと姉ちゃんのホットケーキ焼きました♪ テレビを見ていた患者さんの「美味しそうやねえ」の一言から、当時のレシピを再現してみることに。素朴で優しい味に仕上がりました。</p>	<p>ある日の試作</p>  <p>クリスマスに向けた試作は寿司飯を錦糸卵で巻いたロールケーキ風。</p>	



副島のスタッフは日常的にたくさんの方の活動を行っています。活動に興味のあるメンバーが集まれば、公式大会から些細な出来事まで、学びや刺激いっぱい楽しい「部活動」。昨年の秋冬にはこんなことがありました。一部ご紹介いたします。

副島の部活動

農業部の活動内容
畑でかぼちゃを植える
と聞けば駆けつけ、庭で餅つきがあると聞けば飛んでくる挑戦部隊。活動参加後は責任を持って収穫、試食し出来を確認、次の活動に生かすのがモットー！

拠点 託児所
今回の活動と報告
稲刈りをした。
こめだけど、生だからかじつたりかたかった。みずにカエルがいた。



脱穀したピカピカの新米は後日、子供はおにぎり、大人はカレーライスにして頂きました。



私たち バレー部



沖繩へ遠征
副島で今もっとも勢いのあるバレー部は11月に佐賀県予選で優勝。沖繩で開催された九州クラブバレーボール優勝大会に進出。初戦敗退も健闘！

山下監督より一言
今後も成長するバレー部を応援して下さい。
ママバレー、好成绩
55チームが出場した第27回久光製薬杯県ママさんバレーボール大会で準決勝に進出。
藤川監督より一言
継続は力なり、常勝軍団副島目指しファイト！

学会・講演

平成28年の主に夏から冬にかけて、職員が発表・参加・開催した学会、研究発表会の内容を一部ご紹介します。

医師による学会参加

毎年秋に開催される肩関節学会は、分野のパイオニアで構成される医師団体の元に全国の医師が集い、日々の治療や研究で得られた成果や症状の変化等を発表し合う、指導や学びの大切な場です。今年は広島で開催され、当院の森澤先生が座長の一人を務めました。

学会名	会期	場所
第43回 日本肩関節学会	10/21~22	広島市
第13回 肩の運動機能研究会	同時開催	広島市

森澤先生より一言：今年の当学会のテーマは「脱臼・脱臼再発（古きを知って新しいものを創造する）」であった。1,500名以上の医療従事者が参加し、当院からは2名の理学療法士が発表。私が座長を務めたセミナーでは1980年に発表された肩鎖関節のバイオメカニクスの講演後、肩鎖関節脱臼に対する鏡視下手術について講演された。先人たちの研究とそれを応用した新しい手術方法は今回の学会に相応しい講演だった。



理学療法士による学会発表

怪我や手術後の患部周辺組織の癒着や筋肉の硬直を防ぎ、身体の機能回復をサポートするリハビリ。仕事やスポーツに関わる動作を取り戻す場合は特に細かなケアが必要です。より良い治療法を模索するため、施術結果を発表、聴講し日々研鑽を積んでいます。

【写真左】第13回肩の運動機能研究会のポスター会場にて発表する日高さん。「初めての学会発表で貴重な経験を得ました。」【写真右】矢野さん。「発表した研究を、今後サッカーの障害予防へと繋げていきたいと思っております。」



学会名/場所	会期	演題名	筆頭演者
第11回佐賀整形外科手術侵襲・疼痛研究会/佐賀	8/6	橈骨遠位端骨折術後患者の腫脹管理について	津村優毅
第11回佐賀整形外科手術侵襲・疼痛研究会/佐賀	8/6	大腿骨近位部骨折症例の術後早期移動様式が在院日数に及ぼす影響	川崎大輔
第13回肩の運動機能研究会/広島	10/21-22	肩甲骨面挙上時の肩甲上腕関節の可動特性について	日高里菜
第13回肩の運動機能研究会/広島	10/21-22	ARCR術後における他動関節可動域の経時的変化	江藤正博
九州理学療法士・作業療法士合同学会/鹿児島	11/12-13	橈骨遠位端骨折術後患者のADLと手関節機能関係	津村優毅
九州理学療法士・作業療法士合同学会/鹿児島	11/12-13	運動器算定上限日数に着目したUKA術後成績の調査	川下和宏
九州理学療法士・作業療法士合同学会/鹿児島	11/12-13	肩甲骨面挙上時の脊柱の固定あり・なしの条件の違いが及ぼす影響	日高里菜
第29回九州・山口スポーツ医・科学研究会/福岡	12/10	中学生サッカー選手の経時的な身体柔軟性の変化について	矢野雅直

看護師による第10回院内研究発表会 開催:2/26(金)

患者の方々の心と身体を支える看護の業務は多岐に渡ります。外来や病棟、手術場など各部所から看護師が集まり、患者の方々の負担を軽減するためのアイデアや、業務を円滑に進めるための改善策について意見を交わしました。主な演題は次の通りです。『健康危機状況にある患者さんが望む看護』、『医療廃棄物のコスト削減に努めて』、『人工膝関節置換術におけるフロシール投与による総出血量の比較』、『松葉杖指導パンフレット導入による患者さんへの影響 ～患者不安の軽減に向けた取り組み～』他。



DOCTOR

PHYSICAL THERAPIST

NURSE

麻酔の始まり

近代麻酔の始まりは、1846年10月16日、ボストンのマサチューセッツ総合病院で、ウィリアム・グリーン・モートン (William Green Morton) がエーテル麻酔を供覧し、成功した時とされています。最初は吸入による全身麻酔で笑気(亜酸化窒素)やエーテル、クロロホルムが使われました。クロロホルムは、非常に速く麻酔状態になる反面、強い

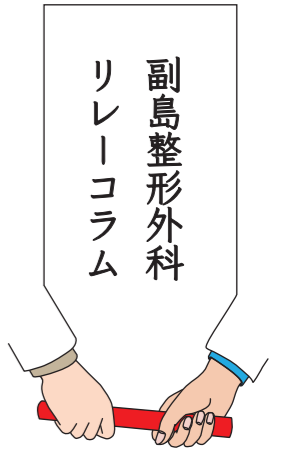


当コラムの執筆者

中島 久美子先生
専門分野：麻酔

医師コラム第2回のテーマ
麻酔ってなんだ？

副島整形外科
リレーコラム



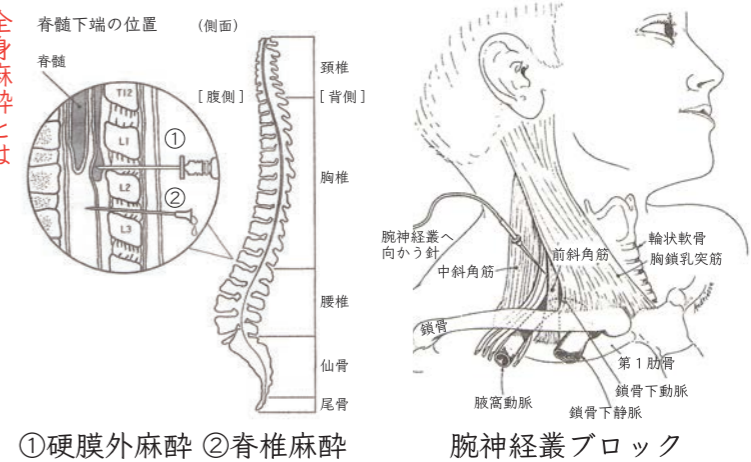
当院に治療に來られる患者の方に見られる症状や治療法について、各部署の専門職員が解説します。肝障害が発生するため、現在では使われていません。その後、麻酔薬の安全性を向上させるための努力が繰り返されました。日本においては1952年、東京大学に麻酔学教室が開講し、麻酔科としての第一歩を踏み出しました。今を去ること64年前の出来事です。その間に麻酔技術は甚だしい進化を遂げ、特にここ20年の麻酔の進歩は目を見張るものがあります。薬やモニター機器の発展により、麻酔はより安全、より安心なものになってきています。

麻酔の3大要素

手術を行うために麻酔は必要不可欠なものです。麻酔の三大要素は、
①意識がないこと
②痛くないこと
③全身が動かないことです。この三つが満たされるように、手術に応じて麻酔方法や薬を選びます。麻酔の方法には大きく分けて局所麻酔、全身麻酔の二つがあります。

局所麻酔とは

痛みを感じる神経に局所麻酔薬を用いて、痛みのない状態を作るものです。神経ブロック、硬膜外麻酔、脊髄麻酔などがあります。



①硬膜外麻酔 ②脊椎麻酔

腕神経叢ブロック

全身麻酔とは

麻酔器から麻酔薬を吸入する方法と、静脈に注射する方法があります。いずれも薬が血管を通して、脳や脊髄という中枢神経に働きます。手術に際しては、どちらか一つを選ぶのではなく、いろいろな方法や薬を組み合わせ、より安全で安心な麻酔ができるようになっています。

麻酔はどう選択するの？

まずは手術部位。肩、肘、手関節といった上肢の手術の場合、ほとんどが全身麻酔です。ばね指や指尖部の手術など、切開部分が小さい場合、局所麻酔や指間ブロックが選択されます。肩の手術に際しては腕神経ブロックが併用されることもあります。下肢の手術では、脊椎麻酔、硬膜外麻酔後静脈麻酔で意識をとります。時には大腿坐骨神経ブロックが選択されることもあります。また、麻酔法の選択に特に重要なのは、患者さんの身体の状態です。そのため手術前には術前検査が必要不可欠です。身長、体重、血圧測定、心電図検査、尿検査などを行います。また必要に応じて胸部CT、心エコー、ホルター心電図が追加されることもあります。持病の有無や服用中の薬のチェックも大切です。これらの情報をもとに、麻酔計画が立てられるのです。



麻酔や、それに伴い使用する薬品類。目的や状況により使い分ける。

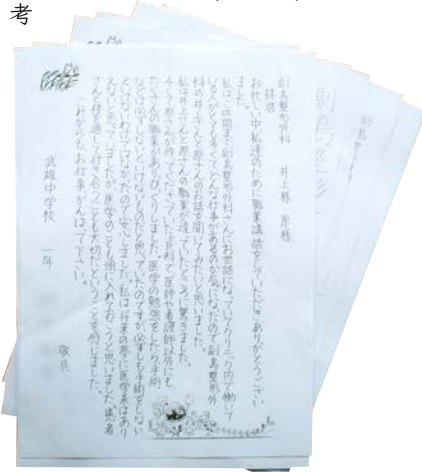
武雄中学校にて 職業講話実施



【リポート担当】
社会福祉士
原 太一郎



10月7日武雄中学校にて、理学療法士の井上さんと共に病院での仕事内容について講話しました。講話の目的は「働くことの意義や意味」について考えることです。将来の進路決定の一助ともなるこの講話には、市役所、美容院、老人施設など様々な職業の方々が招かれ、私たちの講話には約40名の生徒が参加してくれました。当院や職種、役割、仕事内容等を紹介、理学療法士からは実際に体を動かし関節の動きや仕組みを説明しました。皆さんメモを取り真剣に話を聞いてくれていました。今回の講話が生徒さんの視野を広げるきっかけになったなら幸いです。お招き下さった学校の先生方、ありがとうございます。後日届いた生徒さんからのたくさんのお便りも、嬉しく拝読しました。



老人福祉センターにて 転倒予防講座実施



【リポート担当】
地域連携室
吉原 康弘



11月15日に武雄市社会福祉協議会老人福祉センター「日輪荘」にて、介護予防教室を開催しました。橘町北部老人クラブより22名がご参加下さいました。今回のテーマは「転倒予防く健康寿命を延ばそう」です。

講演では、筋力低下を自覚することが、怪我の防止に大変重要であることを話しました。次にご自身の移動機能を把握して頂くため、ロコモ度テストを実践。ロコモとは「立つ」「歩く」といった動作が困難な状態のことで、「寝たきり」や「要介護」の主な原因のひとつです。テストでは、参加者の方から「何にも掴まらなくて立つとはきついか」「昔はできよかった」などの声があり、「自身の身体の変化を実感された様子でした。自宅で行える、転ばない身体づくりの為にトレーニングを実演し、講座を終了。参加された方の中には当院に入院経験のある方がおられ、担当した理学療法士と久しぶりに再会し、入院中の話や退院後の生活について笑顔で話して下さいました。自宅に戻られた方の生活状況を聞く機会は多くないため、大変貴重な時間となりました。

室長一言欄

昨年地域医療機関や介護・福祉施設の方々と勉強会や訪問にて交流させて頂き、有意義な1年を過ごすことができました。今年も患者さんやそのご家族が安心して在宅へ戻る事ができるよう、窓口としてなお一層努力していく所存です。プライベートでは息子との「月1キャンプ」を目標に、仕事も家族とのイベントも計画的に実行していきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。
地域連携室室長 吉原 康弘

編集後記

近過ぎて行かない場所ってありませんか？ 試しに行ってみると、案外新鮮な気持ちになります。灯台下暗し、住んでいる地域について結構知らないものだと感じました。開拓する年になりたいと思います。本年も宜しくお願い致します。広報委員長 辻

特定医療法人 整肢会



副島整形外科病院
佐賀県武雄市武雄町大字富岡 7641 番地 1
☎ 0954-20-0388 FAX:0954-20-0377



副島整形外科クリニック
佐賀県武雄市武雄町大字富岡 7724 番地 1
☎ 0954-22-2155 FAX:0954-23-4275